

## 健康な未来を育む食の力 むかわ町 食育の日

毎月むかわ町食育事業の取組として、皆様から応募頂いた「むかわ飯」の作品をご紹介します。  
むかわ飯とは：むかわ町産の食材をメインとした、家庭で簡単に調理が出来る料理のこと。むかわ町公式FaceBookにおいても、食育の情報を毎月発信していきます。



### 今日のむかわ飯 やさいたっぷりトマトスープ

【料理の概要】むかわの色々な野菜を入れてつくるスープ。

【使用したむかわ町の食材】ほうれん草、玉ねぎ、トマト、にんじん、いも

【一言PR】旬によってスープの野菜をかえるのもいいかと思います。

#### 材料・4人分

・ほうれん草・・・1/4個  
・玉ねぎ・・・1/2個  
・トマト(冷凍)・・・5個  
・にんじん・・・1本  
・じゃがいも・・・2個  
・ベーコン・・・1パック  
・しめじ・・・1/2株  
・コンソメ・・・適量  
・塩・・・適量  
・こしょう・・・適量  
・オリーブオイル・・・適量

#### 作り方・手順

- ①野菜、ベーコンを切る。
- ②冷凍のトマトはお湯をかけて、湯むきし、ざく切りし、ミキサーにかける。
- ③鍋に材料を入れ煮込む。
- ④コンソメ、塩、こしょうを入れて味を整える。

#### 【応募者】

吉村 優衣、梅澤 美貴、小林 陽菜、徳田 紗良 (鶴川高校家庭科部)



提供頂いた写真

#### 「食育アンケート」 ご協力をお願い

このアンケートは町の食育推進計画の更新に向けて、町民の皆様の食生活の状況、食育についての知識、食育事業に対してのご意見を伺うアンケートです。お答えいただいた内容は、更新予定である食育推進計画の施策の参考とさせていただきますので、本記事の二次元バーコードまたはむかわ町公式ホームページ掲載のフォームよりご回答のほどよろしくお願いいたします。



期 間：令和7年7月1日(火)から令和7年7月31日(木)  
対 象：むかわ町在住の皆様

問合せ先：むかわ町役場 農林水産課 農業水産グループ  
T E L：0145-42-2330

## 未来につなぐ 鵠川ししゃもプロジェクト

### 親を守って、子を増やす(後編) 先月号からの続きとなります。今回はししゃもの遡上量調査の内容です。

提供：北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場

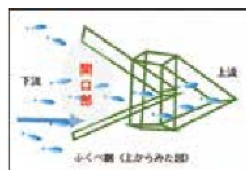


調査には、ふくべ網とよばれる網(図1)を3基、鵠川河口からおよそ1km上流の地点に開口部を下流に向けて設置します。朝と夕方に網をあげて、河川にのぼった親魚を捕まえます。捕まえた親は性別ごとに数を数え、一部は体長と体重を測定します。

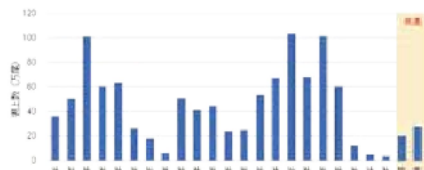
(図2)は平成13年から令和6年に鵠川にのぼった親魚数の推移です。鵠川にのぼった親魚数は激しく変動しています。平成20年に6万尾まで減少していましたが、平成28年に103.5万尾まで回復しました。ところが、令和2年に再び著しく減少し、令和4年には3.9万尾まで減少しました。そのため、胆振管内ししゃも漁業振興協議会は令和5年よりこぎ網漁業を休漁として河川にのぼる親魚数を増やす、資源の回復に取り組んでいます。この休漁により、河川にのぼった親魚の尾数は、令和5年は20.5万尾、令和6年は27.9万尾とゆるやかに増加しています。

親魚の体長は、ふくべ網で採集した個体を100mmから5mm刻みで区分し、各区間に何尾いたかを集計することで把握しています(体長組成)。この分布をみると、雌雄それぞれで一つの大きな山があり、どの体長の個体が多かったかが分かります。最も多かった体長は、雄が雌よりも約10mm大きい傾向にあり、平成30年では雌が115mm、雄が135mmに対し、令和6年では雌が130mm、雄が145mmとなっており、年々親魚が緩やかに大きくなっていました。また、親魚の遡上数が多かった年(平成30年～令和元年)では体長が小さく、遡上が少ない年(令和2年～令和6年)は大きな個体が多い傾向にありました。成熟した雌の体が大きくなると産卵する卵の数が増える傾向にあることが報告されていることから、体長を大きくすることで産卵する卵数を増やし、子孫を残そうとしているのかもしれませんが。

今後も河川にのぼるししゃもの親魚数を調べ、河川で産卵する親の数が十分に確保できるように資源管理方法を検討する必要があります。



(図1)ふくべ網(左：鵠川に設置したふくべ網の写真  
右：ふくべ網の図※矢印は川の流れを表しています)



(図2)平成13年～令和6年 鵠川にのぼった親魚数の推移